

昨日の新聞をこどもたちにプレゼントし、読解力を育てよう

— NIE 全国大会 IN 宇都宮で考える —

開倫塾

塾長 林明夫

Q：NIE（新聞を教育へ）全国大会 IN 宇都宮に参加したそうですね。

A：（1）はい。2019年8月1日と2日に、第24回NIE全国大会 IN 宇都宮が「新聞で深い対話を」とのテーマで栃木県宇都宮市文化会館で開催されましたので、参加させていただきました。

* NIEとは「Newspaper In Education, 教育に新聞を」の取り組みの略です。

（2）2日目午前中のパネルディスカッション、「新聞社の出張授業はこんなに楽しい」では、パネリストの一人として発言させていただきました。

Q：どのような発言をしたのですか。

A：（1）開倫塾では創業間もないころから、塾生の皆様に、新聞を毎日一面からじっくり読み、「自分で考える力」、「批判的思考能力」、特に、「読解力」を身に着けることを奨励。

（2）「新聞週間」の毎年10月15日からの1週間、「NIE月間」の11月には、新聞記者の皆様をお招きして「新聞ができるまで」、新聞配達店の皆様をお招きして「新聞が配達されるまで」とのテーマで出張授業を毎年いくつかの校舎でしていただき、大好評。

（3）ただ残念なのは、新聞を購読している家庭が少なくなっていること。

Q：小学生や中学生、高校生に新聞に親んでもらうためにはどうしたらよいと考えますか。

A：（1）保護者の皆様に、教育における新聞の重要性を訴え、まずは、各ご家庭で新聞を購読することを奨励させていただくこと。

（2）次に、各ご家庭や地域では、昨日の新聞をこどもたちにプレゼントしていただくこと。

（3）更には、学校図書館や地域の公共図書館では、地方紙とすべての全国紙、複数の英字新聞を購読し、新聞を読む機会を十二分に提供していただくこと。

* 学校図書館には、資格を持った図書館司書を「常時」配置すること。予算がなければ、ボランティアの図書館司書を募集すること。

Q：え、昨日の新聞をこどもたちにプレゼントするのですか。どういうことですか。

A：（1）NIE活動の奨励のため、新聞各社では、全国新聞協会を通して全国で約500の学校に、年間を通して無償で新聞を提供してくださっています。長年にわたり、素晴らしい活動と高い評価を得ています。

（2）ただし、新聞を購読しない家庭が増加しているため、こどもたちが家庭で新聞に親しむ

機会が減少、危機的な状況にあります。

- (3) そこで考えたのが、まずは、こどもたちの教育のために、こどものいるすべてのご家庭では、新聞の購読を奨励することです。まずは、保護者がこどもたちの前で新聞を読むことが大切です。
- (4) 次に、読み終えた昨日の新聞を、こどもたちにプレゼントし、できれば一面から、シミからシミまでじっくり読むように、家庭で躰教育。
- (5) 気に入った記事はハサミやカッターで切り抜き、スクラップブックに糊で張り付け、自分の意見をメモ書きする。
- (6) 開倫塾では、毎年、スクラップブック・コンテストを開催していますが、大好評です。社会の出来事についての興味・関心が増して、勉強をする意味を考える上で役立っています。今年も、10月の新聞週間や11月のNIE月間にスクラップブックづくりを奨励し、コンテストをと考えています。

Q：そもそも社会における新聞の役割は何だと考えますか。

- A：(1) 私は、小学校4年生の時に、クラス担任の先生から「4年生になったら、新聞を読むように」とのお教をいただいたため、その日から新聞を毎日読むようになりました。
- (2) 中学生、高校生と何年間も新聞を毎日読んでいたうちに、地域や日本、世界で今起きていることの中には、不条理なことも多いということが感じられました。
- (3) その理由は、新聞には、社会が抱える問題、課題はここにあるよと読者に知らせる「社会の番犬 (Watch Dog)」の役割があるからだと考えます。
- (4) この意味で、報道の自由を含む言論の自由・表現の自由・出版の自由は、自由主義や資本主義、民主主義や法の支配の根幹にかかわる最重要な基本的人権と考えます。
- (5) 「新聞なくして切磋琢磨なし、切磋琢磨なくして社会の発展なし」です。

Q：学習塾や予備校、私立学校の幹部の先生方をお願いしたいことはありますか。

- A：(1) ぜひ、昨日の新聞を用いて、NIE活動を推進してください。
- (2) 年に1回は、学校図書館や公立図書館などで新聞を用いた授業に挑戦を。
- (3) 保護者の皆様には、ご家庭での新聞購読を奨励し、昨日の新聞をこどもたちにプレゼントするようお訴えください。
- (4) 塾内や学校内で、定期的にスクラップブック・コンテストの開催を。
- (5) 年に1回は、新聞記者や販売店の方をお招きして出張授業の開催を。
- (6) 先生方は、何年かに1回は新聞印刷所の視察も。勉強になりますよ。

Q：最後に一言どうぞ。

- A：今月も、先生方がお読みになれば必ず役立つ本をご紹介します。
- (1) 1冊目は、東京個別指導学院代表取締役社長、斎藤勝己著「共創のリーダーシップ～教育のプロが教える、部下と共に成長する関係性のつくり方」芙蓉社 2019年8月5日刊です。素晴らしい内容です。
- (2) 2冊目は、世界的投資家、ジム・ロジャーズ著「日本への警告 米中朝鮮半島の激変から人

とお金の動きを見抜く」講談社+α新書、講談社 2019 年 7 月 18 日刊です。「移民はいらないと
いい始めたら、国家は衰退する」「ただし、移民の受け入れにはコントロールが必要」は、大
賛成。

(3) 3 冊目は、ランディ・E・バーネット著「自由の構造 正義・法の支配」木鐸社 2000 年 7 月 5
日刊。4 冊目は、石川健治著「自由と特権の距離—カール・シュミット「制度体保障」論・再
考」日本評論社 2007 年 6 月 10 日刊です。多少難解ですが、ゆっくり読めば、理解できます。
憲法改正にご関心のある先生方には、どちらも必読書です。

* 小林直樹著「憲法の構成原理」東京大学出版会 1961 年 3 月 24 日刊も、憲法の最高規範性や
憲法的自由、生存権、公共の福祉などを考える際に参考になる「古典」ともいえる本です。

(4) 5 冊目は、丸山真男著「政治の世界」岩波文庫、岩波書店 2014 年 2 月 14 日刊。6 冊目は、J.S.
ミル著「大学教育について」岩波文庫、岩波書店 2011 年 7 月 15 日刊です。丸山真男、J.S.ミ
ル、お二人の政治学の先生方の代表作です。「教養ある人」とは何かを考えるのに役立ちます。
「教養ある人」とは、「すべてについて何事かを知り、何事かについてすべてを知る人(Try to
learn something about everything and everything about something)」。「教養ある人」とは、例
えていうなら「すべての楽器について何事かを知り、指揮についてはすべてを知っているオー
ケストラの指揮者のような人」。このように、J.S.ミル先生と丸山真男先生はおっしゃっておら
れます。皆様は、どのようにお考えになられますか。ぜひ、ご一読を。

2019 年 8 月 14 日、林明夫記